

浮世絵に描かれた日本の妖怪たち

振り向けば もののけの夏



2024.6.25(火)～9.23(月)

休館日 月曜日(祝日の場合は翌火曜日)

浮世絵の祖出生地 きよなんの浮世絵ミュージアム

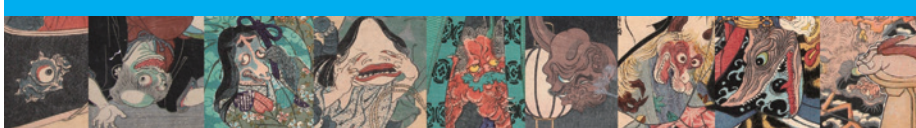
菱川師宣記念館

HISHIKAWA MORONOBU UKIYO E MUSEUM

〒299-1908 千葉県安房郡鋸南町吉浜516 ☎0470-55-4061

◆アクセス 電車 JR内房線保田駅下車 徒歩15分
車 富津館山道路 鋸南保田ICより5分 国道127号沿い 道の駅きよなん内
◆開館時間 9:00～17:00 (入館16:30まで)
◆入館料 一般・大学生 500円 小中高生 400円 (団体20名以上 100円引)

学芸員ギャラリートーク 7/21(日)・8/11(日) 各13:30～
もののけクイズラリー 期間中実施



JAPANESE GHOST GOBLIN MONSTER



「和漢百物語 小野川喜三郎」月岡芳年



「和漢百物語 楠多門丸正行」月岡芳年



「浅倉當吾乃靈」歌川三代豊国



「見立三十六歌撰之内 清玄」歌川三代豊国

描かれた日本の妖怪たち

古来、日本では目に見えないもの、得体の知れないものを「もののけ」ととらえ、災いの象徴として恐れてきました。しかし、時代を経て、語り継がれてきたその「もののけ」に好奇や想像を膨らまし始めたのが、日本人ならではの感性です。江戸時代、実に妖怪ブームと言っていいほど、多種多様の妖怪が創作されていきます。恐ろしげな姿からどこかかわいげのある妖怪まで、キャラクター化して楽しむようにさえたのです。

この展覧会は、浮世絵に描かれたちょっぴり怖くてユーモラスな妖怪たちを紹介します。特に妖怪絵を得意とした月岡芳年の「和漢百物語」全26枚シリーズを一挙公開、また「新形三十六怪撰」「和漢奇談鑑」などの他、北斎漫画「累の怨魂」、喜多川歌麿の「鍾馗と鬼の曲芸」など珍しい作品も展示します。

振り向けば、ほら、あなたの後ろにも…。



「太平記英勇傳 嶋左近友之」落合芳幾



「郵便報知新聞 妖怪顔なめ」月岡芳年



「新形三十六怪撰 貞信公」月岡芳年



「月百姿 吼喊」月岡芳年

<もののけクイズラリー>

期間中・参加自由

「展示作品から出題するクイズに答えて景品をゲットしよう」

入館割引券

このチラシ
ご持参の方
2割引
(1グループまで)

浮世絵の祖出生地 きよなんの浮世絵ミュージアム

菱川師宣記念館

HISHIKAWA MORONOBU UKIYOE MUSEUM

千葉県安房郡鋸南町吉浜516 TEL 0470-55-4061

◆アクセス 電車 JR 内房線 保田駅下車 徒歩 15 分

車 富津館山道路 鋸南保田IC下車 国道 127 号沿い 道の駅きよなん内

◆開館時間 9:00 ~ 17:00 (入館 16:30 まで)

◆入場料 一般・大学生 500 円 小中高生 400 円 (団体 20 名以上 100 円引)

公式サイト <https://www.town.kyonan.chiba.jp/site/hishikawamorobukinenkan/>



菱川師宣記念館
HP

